

令和2年度

事業報告書

学校法人 花園学園

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 学校法人花園学園
所在地 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8番地の1
ホームページ <http://www.haangaku.jp/>

(2) 建学の精神

花園学園は、明治5年に臨済宗妙心寺の山内に宗門の子弟の教育機関として創設されました、「禅のこころ」を建学の精神とする学園であります。

令和4年に学園創立150周年を迎える本学園は、創設以来、禅を根本に据えた教育を實踐して成果を積み重ね、在學生約1,700人の大学、約1,200人の高等学校・中学校、約230人の幼稚園を擁する学園へと成長してまいりました。

本学園の目的は、単なる知識の獲得ではなく、禅を根底とした「こころを育てる」教育であり、これこそが現代社会が抱える諸問題を解決する大きな糸口となると確信しております。

花園大学は開創当時、臨済宗教団の近代化を図る上での主要機関として重要な存在意義を持っており、現在では、宗門の子弟だけでなく、歴史や福祉など目標の異なる多くの学生が集まり勉学や課外活動に励んでおりますが、「禅的仏教精神による人格の陶冶」を独自の教育理念とし、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成すること」をミッションに掲げて、教育指導、人材育成に取り組んでおります。

花園中学校・高等学校は、教育方針として「《禅のこころ》《校訓》《臨済宗妙心寺派の『生活信条』》を教育活動に取り入れ、生きる力を育むこと」を掲げ、生徒自身が目的意識を持った学習の継続、より高い目標に挑戦するという気概と自立心の涵養、さらに知徳体のバランスのとれた豊かな人間性の育成を目指しています。そして、個々を尊重しつつ、自分自身の目標に向かって、正しく判断し行動するための教育を行っております。

洛西花園幼稚園は、仏教的な環境に触れる中で人間形成の基礎を培い、情操豊かな園児を育むことを目標としております。特に、「健康でいきいき活動し、豊かに生きるための基礎を身につけること」を教育方針に掲げて日々園児たちに接しております。

このように禅を根底とした教育の實踐により、私たちが目指す自ら学び自ら解決する「自立した自分」「わたしの中にある仏の心」を確かなものとし、それをともしびとして生き、自らの輝きをもって社会を照らし貢献してゆく人材を育てることこそが大切だと確信しています。花園学園はこれからも豊かな人間性を具えるための教育を目指し邁進してまいります。

(3) 学校法人の沿革

明治5	般若林(三年制)を創立(聯合総餐設立の為、明治8年に閉鎖)
明治19	大教校を設立
明治27	大教校を廃し普通学林を設立
明治36	花園学林と改称
明治40	花園学院と改称して、中学部・高等部に分ける
明治44	花園学院高等部を臨済宗大学と改称し独立
大正8	花園学院中等部を花園中学と改称
昭和2	組織変更により花園中学校を設立(臨済学院中学部設立の為、昭和13年に廃校)
昭和9	臨済宗大学を臨済学院専門学校と改称 臨済学院中学部を設立
昭和10	設立者を財団法人妙心寺派教学財団に変更
昭和22	京都市委託により、臨済学院中学部に花園中学校附設(昭和24年に廃止)
昭和23	学制改革により臨済学院中学部を花園高等学校に改制
昭和24	花園大学設立 仏教学部仏教学科設置
昭和26	財団法人妙心寺派教学財団を学校法人妙心寺派教学団に組織変更
昭和27	花園高等学校 商業科を新設
昭和39	花園大学 仏教福祉学科設置
昭和41	学校法人妙心寺派教学団から学校法人花園学園に改称 花園大学 文学部設置
昭和43	花園高等学校 自動車科を新設
昭和52	花園大学 総合移転
昭和53	花園高等学校 普通科に特別進学コースを新設
昭和55	花園大学 文学専攻科設置
昭和56	洛西花園幼稚園設置
昭和57	高等学校寄宿舎(雪江寮)閉寮
昭和61	花園大学 国際禅学研究所設置
平成4	花園大学 社会福祉学部設置 社会福祉学科
平成6	花園大学 大学院文学研究科設置
平成7	花園高等学校 商業科を募集停止
平成10	花園大学 大学院社会福祉学専攻科設置 花園高等学校 自動車科を自動車工学科に名称変更
平成12	花園大学 歴史博物館設置 花園大学 大学院文学研究科博士(後期)課程設置 花園大学 社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コース開設

平成14	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科設置 花園大学 文学部仏教学科を国際禅学科に名称変更
平成15	花園高等学校 商業科を廃止 花園中学校設置
平成18	花園高等学校 自動車工学科を募集停止
平成19	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科を臨床心理学科に名称変更 花園大学 臨床心理士養成課程（第1種）指定
平成20	花園大学 文学部文化遺産学科設置 花園大学 文学部創造表現学科設置 花園大学 文学部史学科を日本史学科に名称変更 花園大学 文学部国文学科を日本文学科に名称変更
平成21	花園大学 社会福祉学部児童福祉学科設置
平成22	生涯学習センターを開講
平成24	花園学園創立150周年記念事業準備室設置
平成25	花園大学 文学部国際禅学科を仏教学科に名称変更 花園学園 創立150周年記念事業事務棟（又玄館）設置
平成28	花園大学 文学部創造表現学科を募集停止 文学部文化遺産学科を募集停止 花園中学校 中高一貫スーパーグローバルZENコース新設 中高一貫ディスカバリーコース新設 一貫Sコースを廃止
平成29	花園大学 留学生別科設置

(4) 設置する学校・学部・学科等

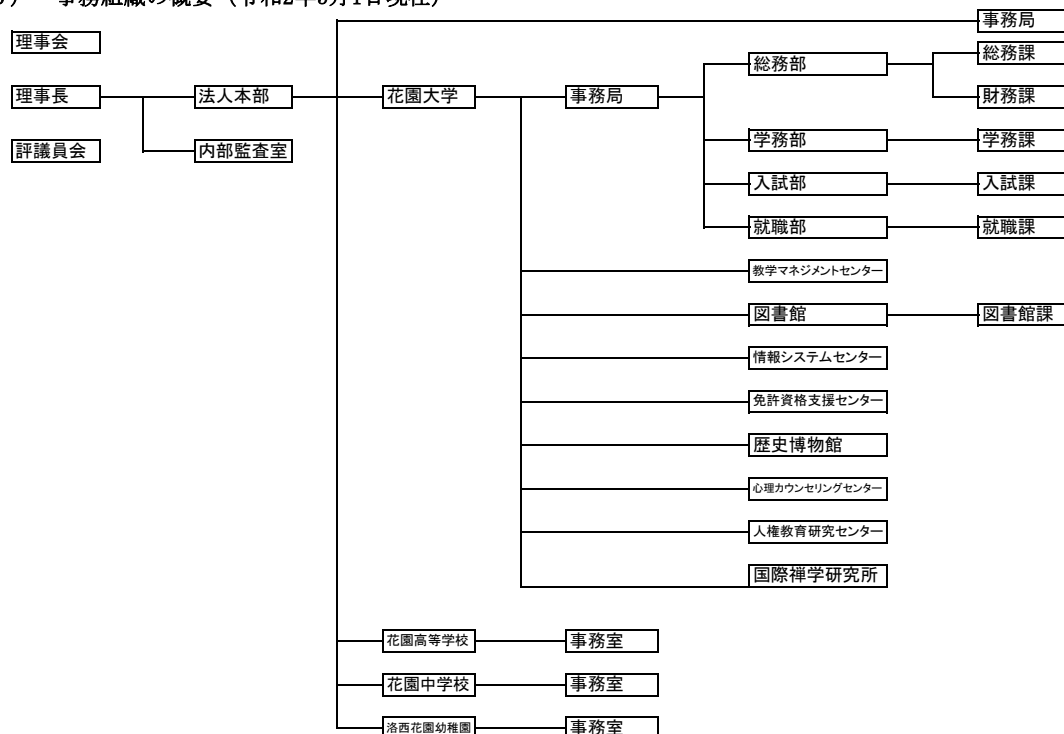
設置する学校	開校年月	学部・学科等
花園大学	昭和24年2月	文学部
		仏教学科
		日本史学科
		日本文学科
		文化遺産学科（募集停止）
		創造表現学科（募集停止）
		社会福祉学部
		社会福祉学科
		臨床心理学科
		児童福祉学科
		文学研究科
		文学研究科専攻修士課程
		文学研究科専攻博士後期課程
		社会福祉学研究科
		社会福祉学研究科専攻修士課程
留学生別科		
花園高等学校	昭和23年4月	全日制（普通科）
花園中学校	平成15年4月	
洛西花園幼稚園	昭和56年4月	

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況（令和2年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	入学定員	入学者	収容定員	現員	
花園大学	文学部	160	178	650	739
	仏教学科	35	40	180	133
	日本史学科	65	66	250	329
	日本文学科	60	72	220	271
	文化遺産学科（募集停止）	0	0	0	2
	創造表現学科（募集停止）	0	0	0	4
	社会福祉学部	245	272	970	977
	社会福祉学科	80	98	320	306
	臨床心理学科	85	94	330	402
	児童福祉学科	80	80	320	269
	文学研究科	17	2	36	18
	文学研究科専攻修士課程	15	2	30	14
	文学研究科専攻博士後期課程	2	0	6	4
	社会福祉学研究科	10	5	20	9
	社会福祉学研究科専攻修士課程	10	5	20	9
留学生別科	40	1	60	12	
花園高等学校	320	344	960	1,024	
花園中学校	80	58	240	185	
洛西花園幼稚園	100	64	280	206	
合計	1,404	1,381	4,892	4,913	

(6) 事務組織の概要 (令和2年5月1日現在)



(7) 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
花園大学	91.01	87.99	90.68	95.62	101.09
花園高等学校	102.19	101.56	105.10	103.13	106.67
花園中学校	56.67	69.17	82.92	83.75	77.08
洛西花園幼稚園	68.93	67.50	61.07	71.43	73.57

(8) 役員の概要 (令和2年5月1日現在)

理事定員：11名以上13名以内、監事定員：2名

理事現員：13名、監事現員：2名

理事 長 栗原 正雄
 学 園 長 松井 宗益
 常 務 理 事 上沼 雅龍、野口 善敬、堀尾 和良、丹治 光浩、石田 斉、溜 剛
 理 事 清水 良正、小山内定代、本間 愛教、鬼頭 孝道、宮川 潤一
 監 事 若山 昌子、人見 智裕

(9) 評議員の概要 (令和2年5月1日現在)

評議員定員：26名以上31名以内

評議員現員：30名

評 議 員 栗原 正雄、松井 宗益、上沼 雅龍、野口 善敬、堀尾 和良、丹治 光浩、石田 斉、溜 剛、清水 良正、小山内定代、澤田 慈明、吹田 良忠、古山 敬光、佐々木 閑、小海 宏之、師 茂樹、鏗田 英希、和田 寿人、中村 広記、中村 幸二、細川 晋輔、白井 大然、佐野 泰典、柴山 昌実、梅 俊行、宮川 潤一、本間 愛教、川島由里子、千代 眞一、津村 恵史

(10) 教職員の概要 (令和2年5月1日現在)

(単位：人)

区分		法人本部	花園大学	花園高等学校	花園中学校	洛西花園幼稚園	計
教 員	本務	0	73	86	21	15	195
	兼務	0	198	21	2	9	230
職 員	本務	7	50	19	1	2	79
	兼務	0	4	2	0	1	7

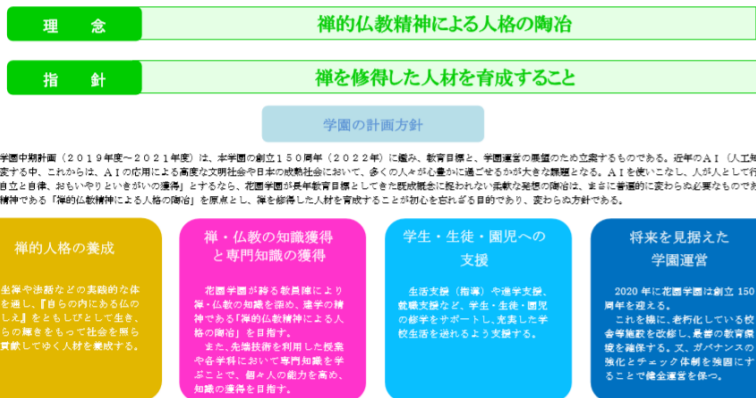
2. 事業の概要

学校法人花園学園 中期ビジョン

花園学園は1792年（明治5年）妙心寺山内に臨済宗各派の宗門子弟の育成機関一般若林一としてその聲を挙げた。師匠から弟子へ受け継がれてきた禅の教えを、仏教の基礎知識と禅の意義を普遍的に修得することを目的に設立された。

戦後、急速に1948年（昭和23年）には花園高等学校（金目科・普通科）が設置され、1966年（昭和41年）には新制花園大学（文学部一仏教学科、社会福祉学科、史学科、国文学科）が生まれる。「禅の仏教精神による人格の陶冶」を学風とし、宗門子弟だけではなく、広く学生を受け入れ、禅と仏教の知識を身につけ、社会に貢献し一隅を照らす人材を育成すべきを目的で再構築された。そして、1981年（昭和56年）には洛西花園幼稚園が、1994年（平成6年）には花園大学大学院が設置され、2003年（平成15年）には花園中学校が花園高等学校に併設された。

それぞれの教育機関において、禅を基盤とした教育は知識の修得だけではなく、自ら獲得した価値観で社会に貢献することを目標とし、これまでに様々な分野に多数の人材を輩出し、社会の進歩と発展に貢献してきた。



(1) 事業の概要

<法人本部>

1. 建学の精神の具現化
2. 創立150周年記念事業計画の進展
3. 組織の充実と改革
4. 地域社会との共存

<花園大学>

建学の精神具現化のため、『花園大学 Zen to you&you 中期ビジョン2021』に掲げる以下の目標に取り組む。

1. 教育力の強化
2. 研究力の強化
3. 学生支援力の強化
4. 就職支援力の強化
5. 経営力の強化

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践
2. 夢を育て高い目標を持つ
3. 21世紀型教育の取り組み
4. 健全な学校運営

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成
2. 教職員の質の向上
3. 安全・安心の幼稚園づくり
4. 健全な幼稚園運営

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

<法人本部>

1. 建学の精神の具現化

コロナ禍の中で、実施可能な宗教行事を検討し、中高にて開山忌に開山堂参拝を実施しました。また、海外研修や海外留学は中止としましたが、中高SGZコースにおいて英語による授業の実施など、グローバル教育に注力しました。

2. 創立150周年記念事業計画の進展

募財活動について当初の予定を見直し、9月から徐々に活動を開始して九州地区や愛知地区、近畿地区などを訪問しました。目標額500,000,000円に対し、令和2年度末で371,742,654円の寄付となりました。

各設置校の施設・設備の整備事業として、大学楽道館建築、幼稚園園舎改修、中高3号館増築等を完了しました。引き続き、残る整備事業を継続します。

記念式典について、どのような状況にあっても対応できるよう開催方法などを検討しました。記念誌は原稿作成が終了し、製本作業に向けた準備に入りました。

3. 組織の充実と改革

法人本部を法人事務と学園創立150周年記念事業事務（創立150周年記念事業室）に区分し、法人事務は花園大学総務部に機能移転し、事務の円滑化を図りました。また、それぞれの事務について、法人本部事務局長の補佐役として法人本部事務局長代行を指名しました。

コロナ禍において学生・生徒・園児が安心して教育を受ける環境を整備するため、オンライン授業関係機器や空気清浄機の設置の支援などをおこないました。

私立学費法の改正に伴う奇附行為の改正をおこないました。また、役員の番官注意義務が明確化されたことに対応するため役員に対して賠償請求があった場合に補填する「私大協役員賠償責任保険」に新たに加入しました。また、内部監査について、監査計画に基づき設置校に対する内部監査を実施しました。

設置校において、大学では「禅とこころ」の開講、中高では開山堂参拝を実施しました。

4. 地域社会との共存

禅の発信、生涯学習の場として計画していた、東京サテライト講座はコロナ禍により開催を中止しました。

学園創立記念事業の進捗状況、募財協力をお願いを記載した趣意書を昨年度に引き続き作成し、11月末に大学・高等学校の同窓生に向けて発送しました。

<花園大学>

中期計画「花園大学 ZEN to you&you 中期ビジョン2021」（2017年）において、「禅的仏教精神による人格の陶冶」を理念に、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成する」ことをミッションとして、「教育力」「研究力」「学生支援力」「就職支援力」「経営力」を強化する方針を掲げています。

毎年度の事業計画においては、中期ビジョンの各方針の実現のための具体的な施策を定めており、本年度における主な進捗・達成状況は以下のとおりです。

1. 教育力の強化

従来の建学の精神に基づいた教育の推進のほか、コロナ禍によりWEBEXなどによる遠隔授業のためのICT環境の整備、オンライン授業の支援を推進しました。コロナ禍においても個々人の主体性・積極性を引き出す教育の維持に取り組みました。

大学機関別認証評価受審に当たり、PDCAサイクルを再度点検し実行した結果、「適正」との評価を受けました。さらに次期中期ビジョンの構築に向け、教育の質保証に向けた取り組みを推進しています。

2. 研究力の強化

研究活動の活性化と外部資金獲得に向け、教員向け説明会開催等の支援を行い、科学研究費助成研究及び受託研究を推進しました。また、コロナ禍に対応するため、個人研究費の柔軟な取扱いを実施しました。

3. 学生支援力の強化

コロナ禍で前期の対面授業が実施出来なくなったことに伴い、学生に一人あたり一律5万円の緊急修学支援奨学金を支給し、オンライン授業の支援等対策を行いました。また貸与用IPAD50台を整備するなど学生支援を行いました。

また、マスク、手指消毒、課外活動の中止など三密回避の徹底により、学生のコロナ感染防止対策に全力を注ぎました。

4. 就職支援力の強化

学生へのきめ細かな個別カウンセリングやインターンシップ参加の促進、就職先・関連団体との関係強化等により就職内定率98.2%を達成しました。

5. 経営力の強化

多様な情報発信による広報活動と機動的な募集活動により、令和2年度新入生は全学部で定員を充足し、学部460名、大学院7名を確保しました。

働き方改革に対応して就業規則を改正し、週休2日制への移行を行いました。また専任教員に専門業務型裁量労働制の導入を行い、次年度からは兼務教員を除く全教員に導入できるよう勤務管理体制を整備しました。

新校舎「楽道館」建設、グラウンド人工芝化及び無聖館3階改修を完了しました。さらに返照館建築に向けて、解体及び埋蔵文化財調査を終了し、次年度からは建築に着手します。

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践

各コース年度当初に計画を立案しましたが、コロナウイルスの影響で殆どが実施できませんでした。コロナ対策の徹底に始終しました。また教職員の研修もリモート研修にとどまりました。

2. 夢を育て高い目標を持つ

例年、一貫コースで実施している各学年の海外研修はすべて中止となりました。海外大学に進学するという夢をもった生徒のため授業内容を工夫しモチベーション維持に努めました。コロナ禍で不安な高校3年生の進路保証のため、EX講座の充実、担任及び進路指導部のきめ細かな指導を実施しました。

3. 21世紀型教育の取り組み

コロナウイルス対策でリモートによる授業の実施を行いました。併せてICT教育の環境整備、教職員のリモート授業の研修を実施しました。AI型の授業はコロナウイルス対策として実施できませんでした。今後コロナ禍でのAI型の授業の実施に向けて取り組んでいきます。

4. 健全な学校運営

コロナ禍で海外進学を掲げる中学SGZコースが苦戦しました。教育内容は高い評価を受けており、コース変更等柔軟な対応でコロナ禍での募集活動を実施していきます。また、年度末に3号館増築工事が完了し、新年度より使用しています。12月の完成予定で1号館建替工事、2号館等改修工事を進めていきます。

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成

新型コロナウイルス感染防止の為、妙心寺派の和尚様と共に行う仏参や園での仏教行事は行なうことが出来ませんでした。各クラスでの仏参を実践する中、園児たちには思いやりの心を育むことができました。

各学年に応じた基本的な生活習慣を日々の保育の中で身に付けました。

遊びのルールや遊具の使い方など徹底することで、怪我やトラブルが減少し安全に過ごすことができました。

幼稚園での様々な経験を通し心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成に繋げることができました。

2. 教職員の質の向上

職員会議を充実し、目標を持ちながら保育を行う事で、教職員同士切磋琢磨することが出来ました。

12月には、園内研修として講師の先生を招き、リトミック研修や絵画研修を行うことで教職員の保育に向ける意欲が高まりました。

毎日の終礼において配慮を要する幼児の情報を共有し全職員同じ対応をすることにより子供が安心して過ごせるようになりました。

3. 安全・安心の幼稚園づくり

緊急事態宣言が解除された後、感染防止に徹底しながら地域の警察官に直接園児たちに指導して頂く機会を設け、楽しく交通ルールを学ぶことが出来ました。

避難訓練は行なうことが出来ませんでした。各クラスで自然災害について話を聞いたり、絵本を通して学びました。

園内に危険な所がないか遊具の点検など教職員で常に見回るようにしました。

4. 健全な幼稚園運営

幼稚園留学については、新型コロナウイルス感染防止の為中止となりました。

コロナの感染拡大防止に努めながら、未就園児対象のパンピの会・リンちゃんクラブの開催を行ったことで、園の評判も広がり入園児の人数が安定しました。

保育終了後、密に家庭との連絡を取り、健全に子供たちが過ごせる環境づくりができました。

150周年記念事業として、園舎内外の改修、保育室・給食室の増築が夏に完成しました。新しい保育室では、預かり保育や子育て支援の部屋として使用しています。

給食室の完成に伴い翌年度5月より給食を行う予定です。

また、翌年度の夏休みを利用して、玄関回りを整備し、新しく駐車場を整備する予定です。

3. 財務の概要

(1) 経年比較

① 貸借対照表

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
固定資産	28,132,462	27,844,626	27,757,453	28,358,357	28,754,343
流動資産	3,588,081	3,698,531	3,589,116	3,406,808	3,815,346
資産の部合計	31,720,544	31,543,158	31,346,569	31,765,166	32,569,689
固定負債	986,858	995,744	935,228	1,408,811	2,578,402
流動負債	515,959	587,016	687,770	718,548	738,961
負債の部合計	1,502,818	1,582,761	1,622,999	2,127,359	3,317,364
純資産の部合計	30,217,726	29,960,397	29,723,570	29,637,806	29,252,325
負債の部及び純資産の部合計	31,720,544	31,543,158	31,346,569	31,765,166	32,569,689

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
運用資産余裕比率	3.75年	3.82年	3.73年	3.54年	2.96年
流動比率	695.42	630.06	521.85	474.12	516.31
総負債比率	4.74	5.02	5.18	6.70	10.19
前受金保有率	924.04	858.77	707.90	706.25	869.57
基本金比率	99.34	99.51	99.63	98.65	94.70
積立率	114.01	110.75	109.11	105.21	98.41

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金収入	2,744,517	2,640,404	2,622,404	2,666,010	2,796,141
手数料収入	62,525	61,584	71,033	75,421	66,112
寄付金収入	74,432	100,141	78,716	363,268	237,983
補助金収入	860,357	867,003	880,094	823,466	1,012,557
資産売却収入	1,915,745	1,515,453	419,215	349,836	1,215,776
付随事業・収益事業収入	6,653	15,594	21,158	7,658	1,852
受取利息・配当金収入	140,127	153,304	205,611	211,483	208,659
雑収入	175,067	60,548	153,130	122,439	74,813
借入金等収入	0	0	0	433,320	1,280,000
前受金収入	366,286	417,642	482,208	453,430	414,262
その他の収入	3,084,039	562,889	269,470	330,285	1,083,104
資金収入調整勘定	△ 572,787	△ 468,716	△ 582,857	△ 656,310	△ 639,934
前年度繰越支払資金	3,201,734	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342
収入の部合計	12,058,699	9,310,481	8,206,753	8,593,854	10,953,674

支出の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費支出	2,430,518	2,275,784	2,434,521	2,457,683	2,406,748
教育研究経費支出	1,017,898	1,067,138	1,107,676	1,097,041	1,323,002
管理経費支出	277,742	330,147	331,021	339,006	270,771
借入金等利息支出	2,949	2,351	1,820	1,479	2,173
借入金等返済支出	35,888	35,888	35,888	35,888	35,888
施設関係支出	21,015	56,547	67,026	781,430	1,936,581
設備関係支出	55,766	34,023	84,494	82,778	247,791
資産運用支出	4,625,039	1,694,149	681,384	605,385	1,021,229
その他の支出	233,027	285,570	136,894	198,585	254,012
資金支出調整勘定	△ 25,778	△ 57,685	△ 87,518	△ 207,765	△ 146,838
翌年度繰越支払資金	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342	3,602,313
支出の部合計	12,058,699	9,310,481	8,206,753	8,593,854	10,953,674

(千円未満は切り捨て)

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,912,837	3,732,176	3,815,319	3,730,020	3,931,143
教育活動資金支出計	3,726,159	3,673,070	3,873,219	3,893,730	4,000,522
差引	186,677	59,106	△ 57,899	△ 163,710	△ 69,379
調整勘定等	△ 47,278	176,597	23,941	△ 21,670	21,628
教育活動資金収支差額	139,399	235,703	△ 33,958	△ 185,381	△ 47,750
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	411,692	13,100	42,895	378,435	1,018,744
施設整備等活動資金支出計	529,457	270,609	363,397	1,070,149	2,286,146
差引	△ 117,764	△ 257,509	△ 320,502	△ 691,713	△ 1,267,402
調整勘定等	47,902	6,674	11,593	113,305	△ 71,568
施設整備等活動資金収支差額	△ 69,862	△ 250,835	308,908	△ 578,408	△ 1,338,970
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	69,536	△ 15,131	△ 342,866	△ 763,789	△ 1,386,720
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	4,406,850	1,872,287	760,443	1,109,497	2,853,784
その他の活動資金支出計	4,291,311	1,636,972	587,733	540,716	1,051,880
差引	115,539	235,315	172,709	568,780	1,801,904
調整勘定等	△ 2,178	△ 18,248	△ 2,865	△ 16,722	△ 15,213
その他の活動資金収支差額	113,360	217,066	169,844	552,058	1,786,691
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	182,897	201,935	△ 173,022	△ 211,731	399,970
前年度繰越支払資金	3,201,734	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342
翌年度繰越支払資金	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342	3,602,313

(千円未満は切り捨て)

ウ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
教育活動資金収支差額比率	3.56	6.32	△ 0.89	△ 4.79	△ 1.21

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

事業活動収入の部		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業活動収入の部	科目					
	学生生徒等納付金	2,744,517	2,640,404	2,622,404	2,666,010	2,796,141
	手数料	62,525	61,584	71,033	75,421	66,112
	寄付金	66,245	88,256	71,935	61,747	48,407
	経常費等補助金	859,023	867,003	876,660	797,702	945,306
	付随事業収入	6,653	15,594	21,158	7,658	1,852
	雑収入	153,421	41,393	131,083	109,527	65,402
	教育活動収入計	3,892,387	3,714,236	3,794,277	3,718,068	3,923,223
事業活動支出の部						
事業活動支出の部	科目					
	人件費	2,397,256	2,302,292	2,377,033	2,459,751	2,384,851
	教育研究経費	1,411,729	1,457,474	1,483,120	1,478,486	1,761,397
	管理経費	321,953	375,616	374,842	376,830	321,947
	徴収不能額等	0	159	219	82	267
	教育活動支出計	4,130,939	4,135,544	4,235,216	4,315,149	4,468,464
	教育活動収支差額	△ 238,552	△ 421,307	△ 440,938	△ 597,081	△ 545,241
教育活動外収入の部						
教育活動外収入の部	科目					
	受取利息・配当金	140,127	153,304	205,611	211,483	208,659
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	450
	教育活動外収入計	140,127	153,304	205,611	211,483	209,109
教育活動外支出の部						
教育活動外支出の部	科目					
	借入金等利息	2,949	2,351	1,820	1,479	2,173
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	6
	教育活動外支出計	2,949	2,351	1,820	1,479	2,180
	教育活動外収支差額	137,178	150,953	203,791	210,004	206,929
	経常費収支差額	△ 101,373	△ 270,354	△ 237,147	△ 387,076	△ 338,312
特別収入の部						
特別収入の部	科目					
	資産売却差額	3,490	3,900	465	0	2,019
	その他の特別収入	10,738	13,120	11,262	328,258	259,056
	特別収入計	14,229	17,021	11,728	328,258	261,076
特別支出の部						
特別支出の部	科目					
	資産処分差額	9,613	3,995	11,407	26,945	308,245
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	9,613	3,995	11,407	26,945	308,245
	特別収支差額	4,615	13,026	320	301,312	△ 47,169
	基本金組入前当年度収支差額	△ 96,757	△ 257,328	△ 236,826	△ 85,763	△ 385,481
	基本金組入額合計	△ 123,645	△ 293,431	△ 180,000	△ 517,527	△ 803,203
	当年度収支差額	△ 220,403	△ 550,759	△ 416,826	△ 603,290	△ 1,188,684
	前年度繰越収支差額	1,620,620	1,402,432	854,922	595,351	△ 7,939
	基本金取崩額	2,216	3,250	157,255	0	0
	翌年度繰越収支差額	1,402,432	854,922	595,351	△ 7,939	△ 1,196,624

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業活動収入計	4,046,744	3,884,562	4,011,617	4,257,810	4,393,409
事業活動支出計	4,143,502	4,141,891	4,248,444	4,343,574	4,778,890

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業活動収支差額比率	△ 2.39	△ 6.62	△ 5.90	△ 2.01	△ 8.77
学生生徒等納付金比率	68.06	68.27	65.56	67.85	67.66
人件費比率	59.45	59.53	59.43	62.60	57.71
教育研究経費比率	35.01	37.68	37.08	37.62	42.62
管理経費比率	7.98	9.71	9.37	9.59	7.79

(2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

収入の部について、学生・生徒・園児数の確保が堅調であったことから、学生生徒等納付金収入は前年度に比べ130,131千円の増額となりました。また、学園創立150周年の事業として進めています学内整備事業のため、借入金等収入は846,680千円の増額となりました。

支出の部について、新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急修学支援奨学金を支給したこと等により、教育研究経費支出は1,323,002千円の支出となりました。また、学園創立150周年記念事業として進めています、花園大学、花園中学高等学校、洛西花園幼稚園の施設整備計画の進展により、施設関係支出で1,936,581千円、設備関係支出で247,791千円となりました。

以上から、翌年度繰越支払金は前年度に比べ399,971千円増の3,602,313千円となりました。

事業活動収支について、経常収支差額は前年度より48,764千円改善し、338,312千円のマイナスとなりました。施設整備の更新、第2号基本金組入により、基本金組入額は803,203千円となりました。